

文部科学省は、デジタル教科書などを効果的に活用する上で、学習指導や生徒指導の在り方はどうあるべきかなどについて、今後さらに検討を重ねていく必要があるとしています。

さらに、一般社団法人日本経済団体連合会（以下経団連）が10月11日に公表した「『次期教育振興基本計画』策定に向けた提言」では、経済界が特に重要と考える、以下4点のような指標や施策が盛り込まれました。

- ・2027年までに、学習者用デジタル教科書整備率90%の達成（2022年3月35.9%）
- ・2024年までに、国の財政措置で全学校の通信速度の改善
- ・学習者用アプリやデジタル教材は、エドテック補助金の継続
2024年以降の本格導入に向けて、デジタル教科書は無償給与
- ・動画や音声などを含むデジタル教科書を基にした教科書検定の実施

経団連は、学校現場にAIやIoTなどの革新的技術を最大限取り入れ、学習者の興味関心の向上、習熟度に合わせた個別最適な学びを実現することが重要としています。

▼個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた

教科書・教材・ソフトウェアの在り方 について ～中間報告（論点整理）～
https://www.mext.go.jp/content/20221003-mxt_syoto02-000025326_2.pdf

▼「次期教育振興基本計画」策定に向けた提言

http://www.keidanren.or.jp/policy/2022/088_honbun.html#ref39

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年10月20日調査）

- ☆★ (1) 紛失・置き忘れ：11件 (2) 誤掲示：2件 (3) 誤配布：1件
(4) 誤送信：1件 (5) 設定ミス：1件 (6) ワーム・ウイルス感染：1件
(7) その他：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年9月8日～2022年10月17日に合計18件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

- (1) 紛失・置き忘れ

東京都 2022年9月13日 市立小学校 書類 38件
東京都 2022年9月14日 都立高等学校 書類 40件
神奈川県 2022年9月22日 市立中学校 書類 1件
福島県 2022年10月3日 県立高等学校 書類 40件
新潟県 2022年10月4日 県立高等学校 書類 1件
新潟県 2022年10月4日 県立高等学校 書類 1件
奈良県 2022年10月6日 県立高等学校 書類 40件
神奈川県 2022年10月7日 市立中学校 書類 2件
大阪府 2022年10月11日 市立小学校 書類 159件
宮城県 2022年10月17日 県立高等学校 書類 2件
宮城県 2022年10月17日 県立高等学校 書類 1件

(2) 誤掲示

茨城県 2022年8月24日 市児童館・学童クラブ ホームページ・Web 36件
大阪府 2022年10月7日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 2件

(3) 誤配布

大阪府 2022年10月7日 市立小学校 書類 1件

(4) 誤送信

長野県 2022年9月27日 市立不明 電子メール 37件

(5) 設定ミス

大阪府 2022年9月13日 府立高等学校 インターネットサービス・アプリ 延べ31件

(6) ワーム・ウイルス感染

熊本県 2022年10月13日 県立高等学校 パソコン USB メモリ 23件

(7) その他

北海道 2022年10月13日 その他公立中学校 不明 不明

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

調布市公式ホームページ／ニュースサイト「毎日新聞」／東京都教育委員会ホームページ／NHK NEWS WEB／
横須賀市ホームページ／カナロコ／みんゆう Net／新潟県ホームページ／奈良新聞デジタル／大阪市ホームページ／
宮城県公式ウェブサイト／河北新報 ONLINE NEWS／龍ヶ崎市ホームページ／安曇野市ホームページ／大阪府ホームページ



□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆児童生徒の情報活用能力の育成に向けて

1人1台環境下における認知の特性に注目した授業づくりの要点（後編①）◆

相模原市立小山小学校 指導教諭 平城 慎也

後編は、小・中教員の立場から、

前編で紹介した授業づくりの要点を基にした授業の実践について紹介する。

今回は小学校3年生の国語科において、次の二点について意識した実践の紹介をする。

①学習は二つの行為の繰り返しであること

学習は、覚える内容や解決する方法を、聞く、見るなどにより自分にインプットすることと、覚える内容や解決する方法を、書く、描く、話すなどによりアウトプットすることの二つの行為を繰り返す。その中で、タブレット PC は、インプットとアウトプットを拡張してくれる道具の一つと言える。

②分かりやすさの特性には違いがあること

児童生徒だけでなく大人も含め、分かりやすいインプットや行いやすいアウトプットには、個々の特性が関係している。例えば、文章で説明することや受ける方が得意とする人、図で説明をすることや受ける方が得意とする人の違いは、分かりやすさの特性の違いから起きていると考える。

そのため、タブレット PC を活用し、児童生徒がその特性に応じたインプットやアウトプットを行いやすいよう教師が支援することで、分かりやすい状況がつけられることになる。

○授業実践 小学校3年生 国語科「仕事のくふう、見つけたよ」

○タブレットPCの活用ポイント

(1) 調べる場面

本や実地見学に加えて、インターネットを使って仕事紹介の動画や仕事図鑑で調べるとともに、見学が不可能な店の動画を視聴したり、本で調べたことをもとに画像検索してイメージを膨らませたりしていた。

(2) 調べたことメモ → 組み立てメモの場面

児童は、Google Jamboard™ に調べたことをメモして並び替え、伝えたい、伝えるべきことを決め、Google Jamboard の背景機能を活用し、文章の構成を考えることで「情報の分類・整理」から「文章の構成」へと子どもたちの思考がつながりやすくなった。

また、Google Jamboard の共同編集機能を活用し、児童がお互いのメモを読み合って共有する他、調べたり構成を考えたりする様子をいつでも見ることができ環境としたため、児童自身が自分の分かりやすさに合った、他者のまとめ方を参考にすることが可能となった。

(3) 組み立てメモを基に文章を書く場面

児童自身が、手書きと Google ドキュメントを選ぶこととしたが、ドキュメントでは、書き直す簡単さを実感するとともに、その報告書を読み合う場面では、読みづらさがなく、文章の構成や表現といった内容面に目が向くようになった。

(4) 毎時間の振り返り場面

同じく、児童自身が、手書きと Google ドキュメントを選ぶこととしたが、音声入力を使って学んだことをアウトプットすることも可能とし、誰もが自分の意見を何らかの手段で表現できるよう環境設定を行った。

◆ 執筆者プロフィール ◆

相模原市立小山小学校 指導教諭 平城慎也

平成 29 年度から相模原市立小中学校視聴覚教育研究会に所属し、情報教育の推進に携わる。令和 2 年度からは教育研究員として「一人一台端末環境における情報活用能力の育成」の研究を進める。令和 3 年度からは指導教諭として、市内の授業づくりのサポートを行っている。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◇◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、6 月 10 日に「令和 3 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会 (ISEN)

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階 (株式会社 JMC 内)

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>